

トレボ操作マニュアル（中級編）

トレボ操作マニュアル（初級編）では、トレボを利用する上で、基本的な操作方法をご説明しました。
中級編では、チャートの設定や複数ウィンドウの一括表示機能など、トレボをより便利にご利用いただける機能をご紹介します。

1. 設定を変更して、チャートをより使いやすく！

トレボのチャートは、ワンタッチ切り替えのようなスピーディな操作、簡単に設定できる豊富なテクニカル指標が特長です。

トレボ操作マニュアル（初級編）では、

- ・トレンドライン
- ・数値読み取り
- ・転換点
- ・ループ
- ・全データ表示

などの基本的な操作についてご紹介しましたが、中級編ではテクニカルチャートの設定やツールバー設定など、更に一步進んだ内容をご案内します。




アドオンチャート

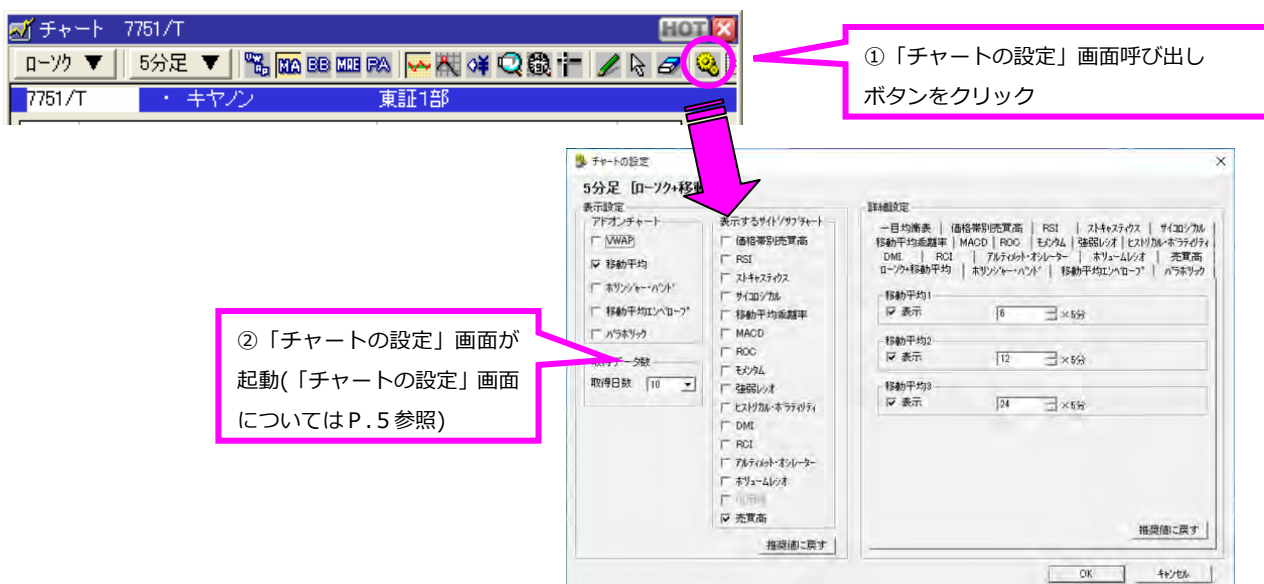
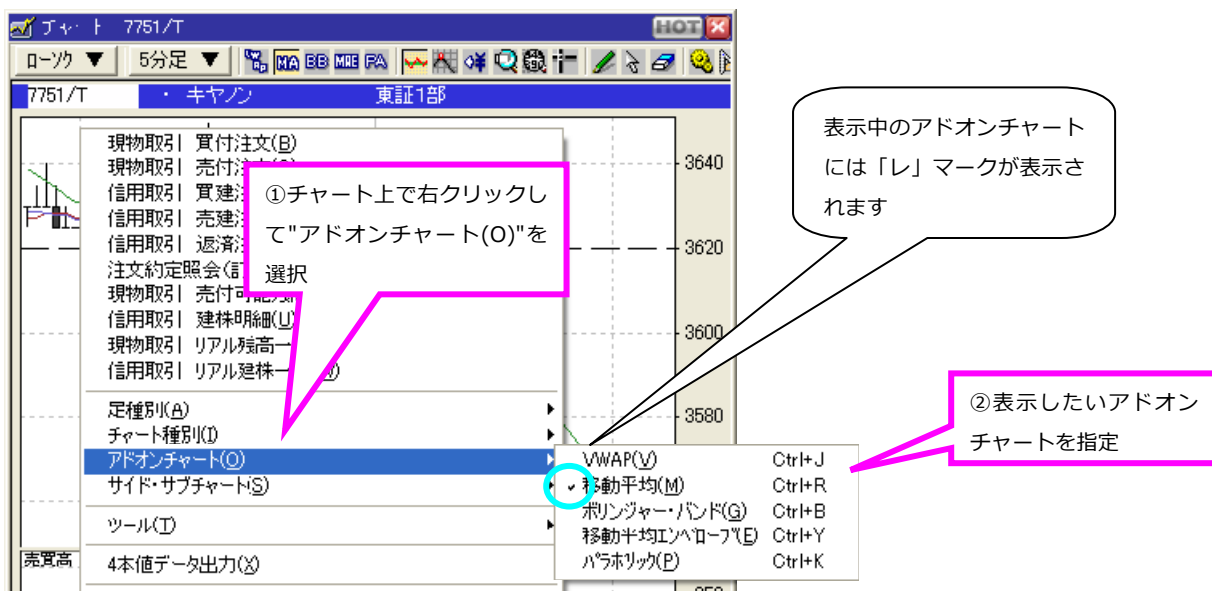
【内容】

アドオンチャートとは、メインチャート表示エリアに重ねて表示するチャートのことです。
アドオンチャートは、以下の5種類から選択します(複数指定可)。チャートの種別や足種により、指定できないものがあります。

- ・ VWAP
- ・ 移動平均
- ・ ボリンジャー・バンド
- ・ 移動平均エンベロップ
- ・ パラボリック

【操作】

チャート上で右クリックし、“アドオンチャート(O)”を選択して、表示したいアドオンチャートを指定するか、「チャートの設定」画面呼び出しボタンをクリックして、指定してください。



サイド/サブチャート


【内容】

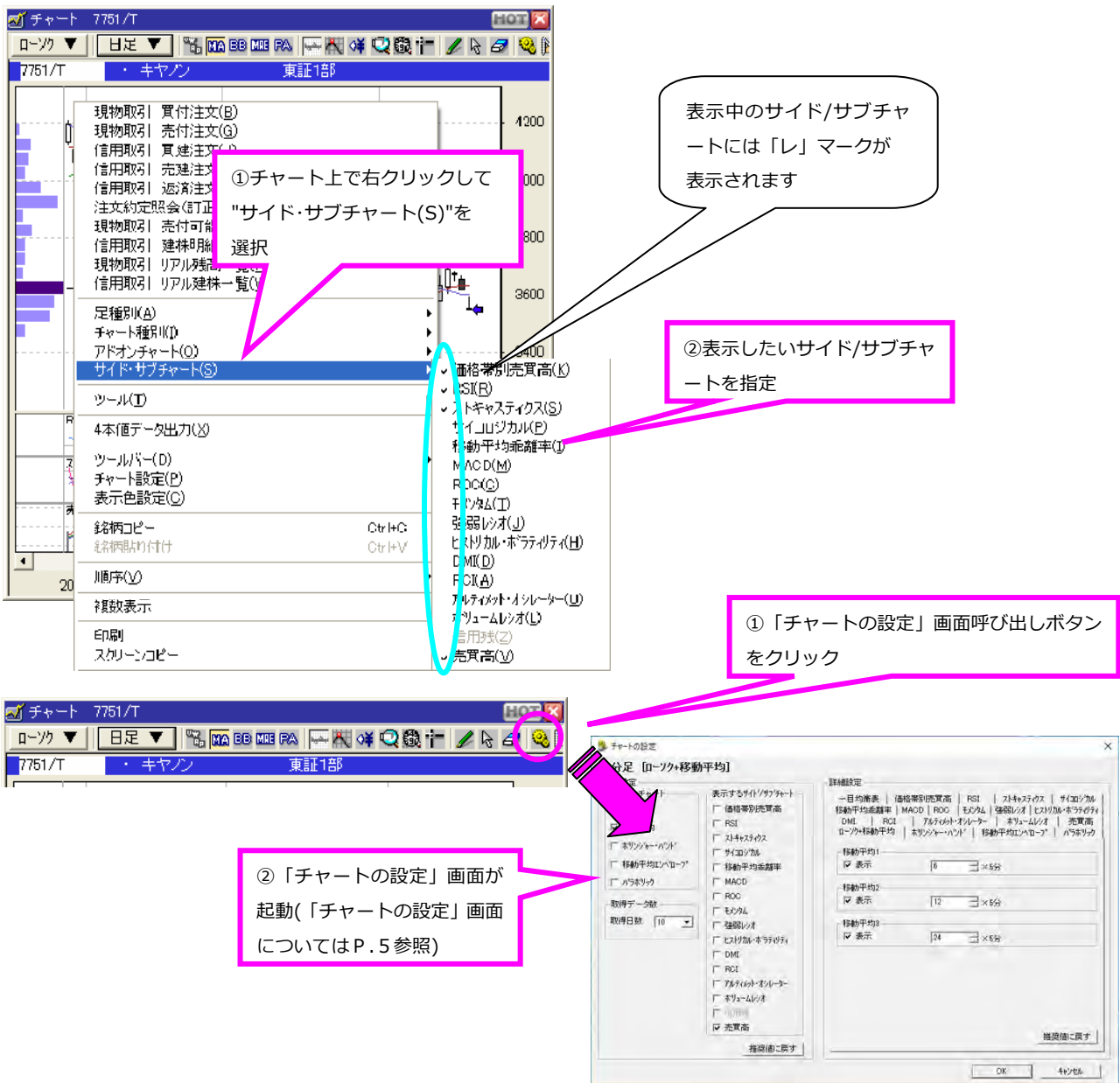
メインチャート表示エリアの左(サイド)、または下(サブ)に表示するチャートを指定します。
サイド/サブチャートは、以下の 16 種類から選択します。チャートの種別や足種により、指定できないものがあります。

- ・価格帯別売買高
- ・RSI
- ・ストキャスティクス
- ・サイコロジカル
- ・移動平均乖離率
- ・MACD
- ・ROC
- ・モメンタム
- ・強弱レシオ
- ・ヒストリカル・ボラティリティ
- ・DMI
- ・RCI
- ・アルティメット・オシレーター
- ・ボリュームレシオ
- ・信用残
- ・売買高

※価格帯別売買高のみサイドチャート表示エリアに表示、その他はサブチャート表示エリアに表示

【操作】

チャート上で右クリックし、“サイド・サブチャート(S)”を選択して、表示したいサイド/サブチャートを指定するか、“チャートの設定”画面呼び出しボタン  をクリックして、指定してください。



表示中のサイド/サブチャートには「レ」マークが表示されます

①チャート上で右クリックして“サイド・サブチャート(S)”を選択

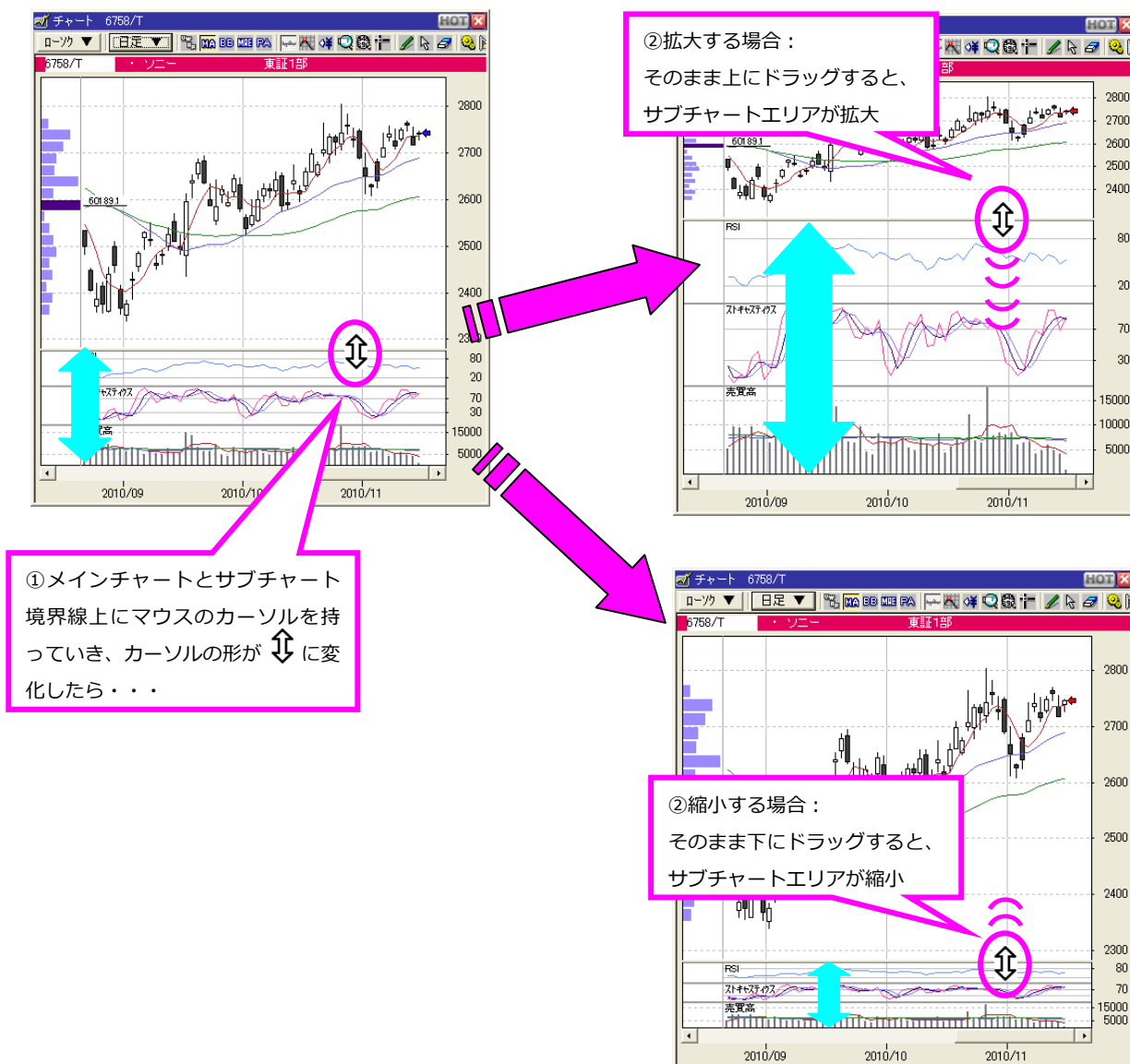
②表示したいサイド/サブチャートを指定

①「チャートの設定」画面呼び出しボタンをクリック

②「チャートの設定」画面が起動(「チャートの設定」画面についてはP.5 参照)

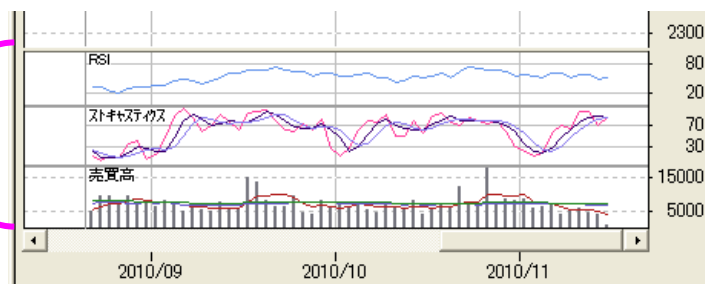
■サブチャートエリアの拡大/縮小

サブチャートエリアは、マウスの操作により拡大/縮小が可能です。



※各サブチャートエリアの割合は個別に変更できません。

例えば、サブチャートの中で、RSI のみを広くすることはできません




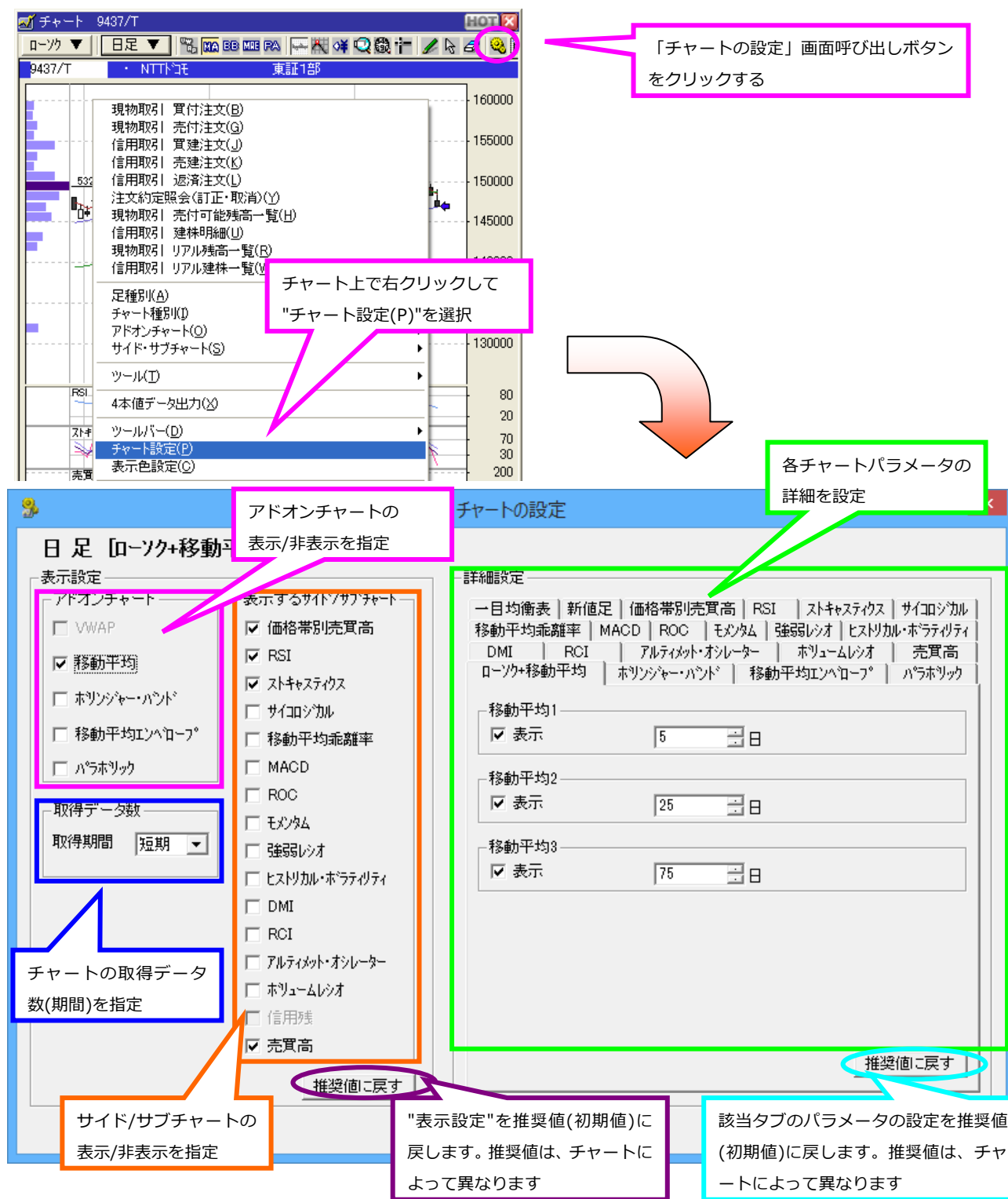
チャートの設定

【内容】

アドオンチャート、サイド/サブチャートの表示/非表示の指定、テクニカル指標の詳細設定を行います。
表示中のチャートの種別により、設定画面の内容は異なります。

【操作】

チャート上で右クリックし、「チャート設定(P)」を選択するか、「チャートの設定」画面呼び出しボタン  をクリックしてください。



「チャートの設定」画面呼び出しボタンをクリックする

チャート上で右クリックして
"チャート設定(P)"を選択

各チャートパラメータの詳細を設定

アドオンチャートの表示/非表示を指定

表示設定

アドオンチャート

- ☐ VWAP
- ☒ 移動平均
- ☐ ホリゾンタルバンド
- ☐ 移動平均エンベロープ
- ☐ パラボリック

取得データ数

取得期間 短期

表示するサイド/サブチャート

- ☒ 価格帯別売買高
- ☒ RSI
- ☒ ストキャスティクス
- ☐ サイロシカル
- ☐ 移動平均乖離率
- ☐ MACD
- ☐ ROC
- ☐ モメンタム
- ☐ 強弱レシオ
- ☐ ヒストリカル・ボラティリティ
- ☐ DMI
- ☐ RCI
- ☐ アルティメット・オシレーター
- ☐ ボリュームレシオ
- ☐ 信用残
- ☒ 売買高

チャートの取得データ数(期間)を指定

サイド/サブチャートの表示/非表示を指定

推奨値に戻す

"表示設定"を推奨値(初期値)に戻します。推奨値は、チャートによって異なります

推奨値に戻す

該当タブのパラメータの設定を推奨値(初期値)に戻します。推奨値は、チャートによって異なります

詳細設定

一目均衡表 | 新値足 | 価格帯別売買高 | RSI | ストキャスティクス | サイロシカル | 移動平均乖離率 | MACD | ROC | モメンタム | 強弱レシオ | ヒストリカル・ボラティリティ | DMI | RCI | アルティメット・オシレーター | ボリュームレシオ | 売買高 | ローソク+移動平均 | ホリゾンタルバンド | 移動平均エンベロープ | パラボリック

移動平均1

☒ 表示 5 日

移動平均2

☒ 表示 25 日

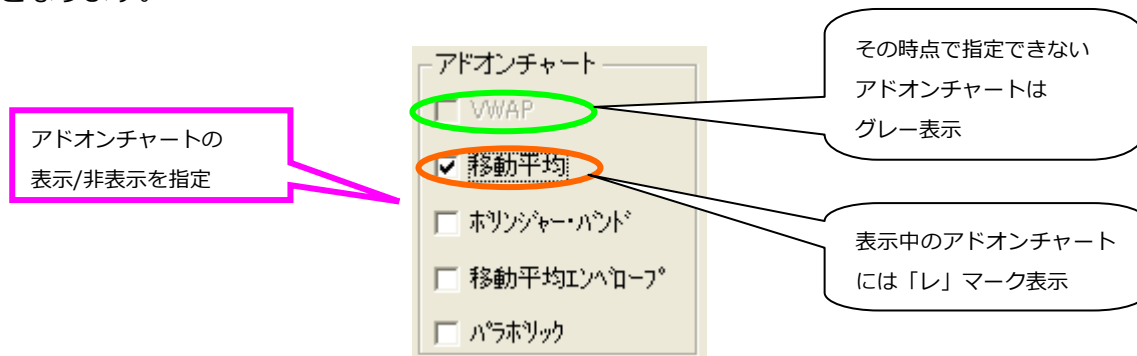
移動平均3

☒ 表示 75 日

■ アドオンチャートの設定

アドオンチャートの表示/非表示の設定を行います。表示中のサイド/サブチャートには「レ」マークが表示されます。

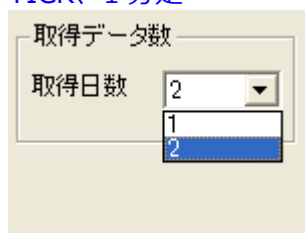
チャートの種別や足種により、指定できないものがあります。指定できないアドオンチャートは、グレー表示となります。



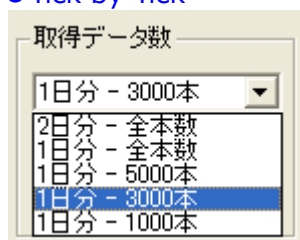
■ 取得データ数の設定

チャート描画対象期間の設定を行います。チャートの足種により選択内容が異なります。

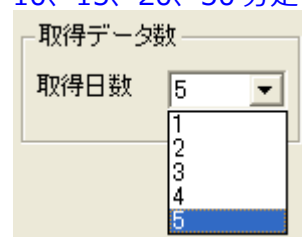
● TICK、1 分足



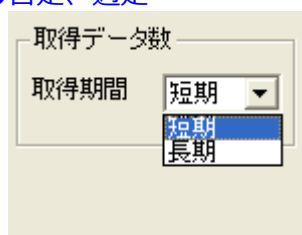
● Tick by Tick



● 2、3、4、5、6、10、15、20、30 分足



● 日足、週足



※月足は、設定できません。

■サイド/サブチャートの設定

サイド/サブチャートの表示/非表示の設定を行います。表示中のサイド/サブチャートには「レ」マークが表示されます。

チャートの種別や足種により、指定できないものがあります。指定できないアドオンチャートは、グレー表示となります。

サイド/サブチャートの
表示/非表示を指定

表示するサイド/サブチャート

- ☒ 価格帯別売買高
- ☒ RSI
- ☒ ストキャスチクス
- ☐ サイロシカル
- ☐ 移動平均乖離率
- ☐ MACD
- ☐ ROC
- ☐ モメンタム
- ☐ 強弱レシオ
- ☐ ヒストリカル・ボラティリティ
- ☐ DMI
- ☐ RCI
- ☐ アルティメット・オシレーター
- ☐ ボリュームレシオ
- ☐ 信用残
- ☒ 売買高

推奨値に戻す

表示中のサイド/サブチャートには「レ」マーク表示

その時点で指定できない
サイド/サブチャートは
グレー表示

※チャートの詳細設定(次項参照)を行っても、アドオンチャート、サイド/サブチャートで表示設定されていないもの(チェックされていないチャート)は表示しませんので、ご注意ください。

■詳細設定

アドオンチャートやサイド/サブチャートのパラメータの詳細な設定を行います。

チャートの種別により、設定できる項目や予めセットされているパラメータの内容が異なります。

●日足 [ローソク+移動平均] の場合

詳細設定

一目均衡表	新値足	価格帯別売買高	RSI	ストキャスチクス	サイロシカル
移動平均乖離率	MACD	ROC	モメンタム	強弱レシオ	ヒストリカル・ボラティリティ
DMI	RCI	アルティメット・オシレーター	ボリュームレシオ	売買高	
ローソク+移動平均	ボリンジャー・バンド	移動平均エンベロープ	パラボリック		

移動平均1
☒ 表示 5 日

移動平均2
☒ 表示 25 日

移動平均3
☒ 表示 75 日

推奨値に戻す

●5分足 [ローソク+移動平均] の場合

詳細設定

一目均衡表	価格帯別売買高	RSI	ストキャスチクス	サイロシカル
移動平均乖離率	MACD	ROC	モメンタム	強弱レシオ
DMI	RCI	アルティメット・オシレーター	ボリュームレシオ	売買高
ローソク+移動平均	ボリンジャー・バンド	移動平均エンベロープ	パラボリック	

移動平均1
☒ 表示 6 × 5分

移動平均2
☒ 表示 12 × 5分

移動平均3
☒ 表示 24 × 5分

推奨値に戻す

足種別により表示内容、
設定内容が異なります

表示/非表示の詳細設定

設定部分にチェックボックスのあるパラメータは、表示/非表示の設定を行うことができます。

(例) ボリンジャー・バンドチャート

①「チャートの設定」画面を開き、ボリンジャー・バンドの設定タブをクリック

②クリックして、標準偏差3のチェックを外す

③標準偏差3のラインが消去されます

チャート 9437/T
ローソク 日足 MA BB MDE PA
9437/T NTTコム 東証1部
2010/09 2010/10 2010/11

詳細設定

一目均衡表 新値足 価格帯別 高 RSI ストキャスティクス サイコロジカル
移動平均乖離率 MACD RO モメンタム 強弱レシオ ヒストリカル・ボラティリティ
DMI RCI アルティマ・オシレーター ボリュームレシオ 売買高
ローソク+移動平均 **ボリンジャー・バンド** 移動平均エンベローフ パラボリック

基準となる移動平均(日)
☐ 移動平均1 5 ☒ 移動平均2 25 ☐ 移動平均3 75
☒ 移動平均を表示する

標準偏差1
☒ 表示 乗数 1.0

標準偏差2
☒ 表示 乗数 2.0

標準偏差3
☐ 表示 乗数 3.0

推奨値に戻す

OK キャンセル

スケールラインの設定

ヒストリカル・ボラティリティ、ボリュームレシオ、サイコロジカル、移動平均乖離率、RSI、RCI、アルティメット・オシレーター、ストキャスティクスチャートでは、スケールラインの設定ができます。

(例) RSI チャート



「80%」と「20%」の2本のスケールラインが描画されている状態

①「チャートの設定」画面を開き、RSI の設定タブをクリック

②スケールライン 1 を「30%」、スケールライン 2 を「70%」に変更

③スケールライン 3 のチェックボックスにチェックをする

Scale Line	Value (%)	Checked
Scale Line 1	30	<input type="checkbox"/>
Scale Line 2	70	<input checked="" type="checkbox"/>
Scale Line 3	50	<input checked="" type="checkbox"/>



④「80%」が「70%」に、「20%」が「30%」に変更されます。また、「50%」の位置にスケールラインが新規に描画されます(スケールライン 3)

基準となる移動平均

ボリンジャー・バンド、移動平均エンベロープでは、基準となる移動平均を簡単に変更できます。

(例) 移動平均エンベロープ



①「チャートの設定」画面を開き、移動平均エンベロープの設定タブをクリック

詳細設定

移動平均乖離率	MACD	ROC	モメンタム	強弱レシオ	ヒストリカル・ボラティリティ
DMI	ROI	アルティメット・オシレーター	ボリュームレシオ	売買高	
一目均衡表	価格帯別売買高	RSI	ストイカスチラス	サイロジカル	
ローソク+移動平均	ボリンジャー・バンド	移動平均エンベロープ	ハラホリック		

基準となる移動平均(×5分)

☒ 移動平均1 ☐ 移動平均2

☒ 移動平均を表示する

乖離率1
☒ 表示 ± 0.3 %

乖離率2
☒ 表示 ± 0.6 %

乖離率3
☒ 表示 ± 0.9 %

推奨値に戻す

OK キャンセル

移動平均の期間の変更は、
"ローソク+移動平均"タブで
行います

②基準となる移動平均の
うち、移動平均1のラジオ
ボタンをチェック



③「移動平均1」(この例では、
5日移動平均)をベースとした、
移動平均エンベロープチャート
に変更


ツールバーの設定

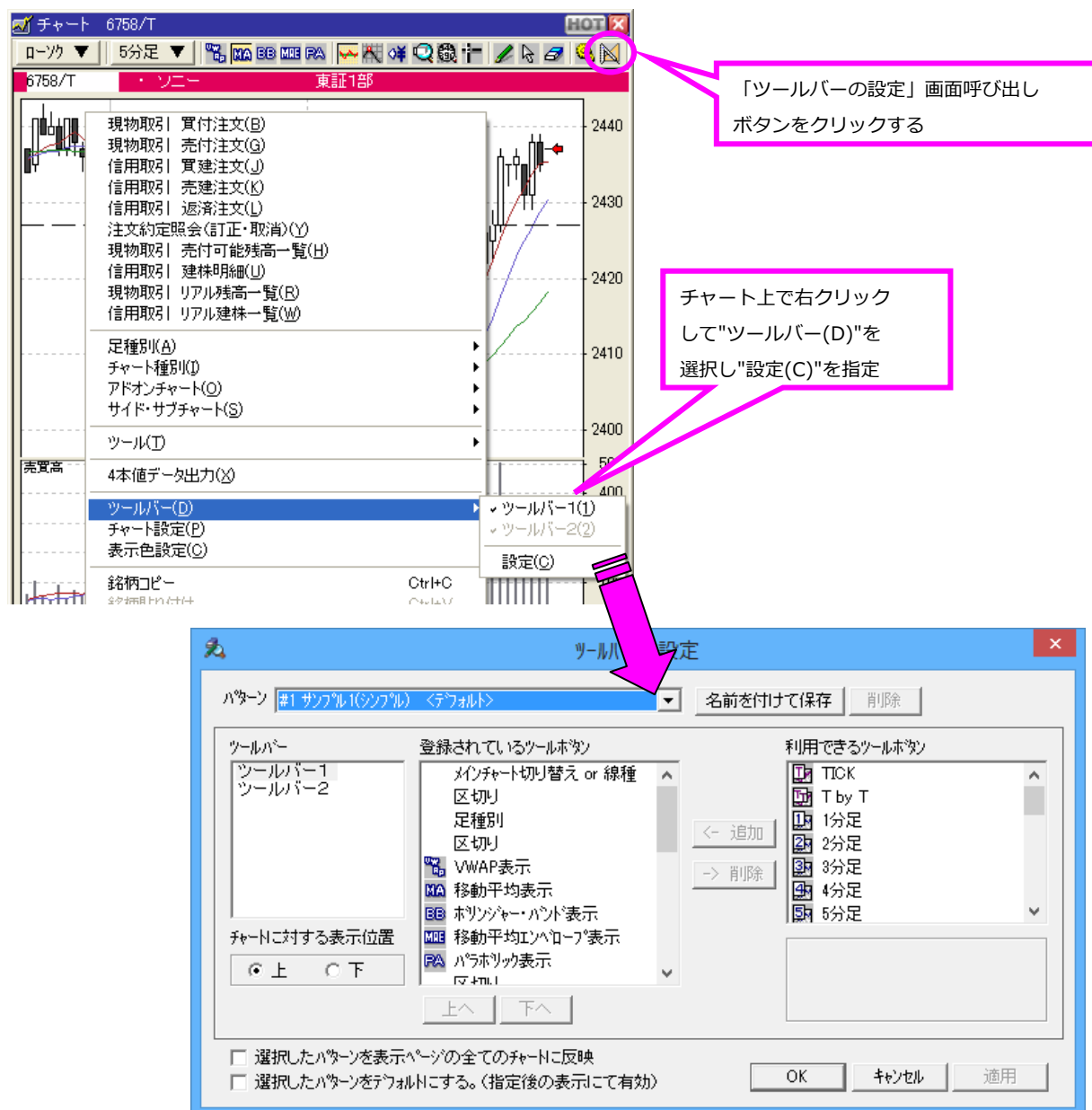
【内容】

チャート上に表示するツールバーの設定を行います。ツールバー上に表示するボタンや、ツールバーの表示位置(チャート上部/下部)を指定できます。



【操作】

チャート上で右クリックし、“ツールバー(D)”を選択し“設定(C)”を指定するか、「ツールバーの設定」画面呼び出しボタン  をクリックしてください。



ツールバーの設定

① ツールボタンを登録するツールバーを選択

② 項番①で選択したツールバーの表示位置を選択

③ 削除の場合：
ツールバーから削除するボタンを選択して
[-> 削除]ボタンをクリック

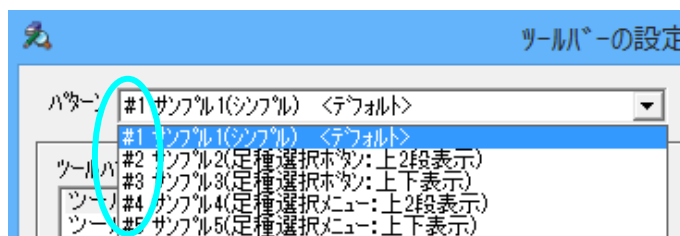
③ 追加の場合：
ツールバーに登録するボタンを選択して[-> 追加]ボタンをクリック

選択したパターンを表示ページの全てのチャートに反映
選択したパターンをデフォルトにする。(指定後の表示にて有効)

ここにチェックをすると、表示中のチャート全てに設定を反映

ここにチェックをすると、設定画面上に表示されたツールバーパターンをデフォルト(初期値)パターンとして採用

※先頭に「#」マークのついたパターンは上書き保存や、削除ができません。



ツールバーの組み合わせ表示

ツールバーは、チャート上部・下部に組み合わせて表示できます。また、チャートの大きさによっては1つのツールバーにたくさんのボタンを登録しても隠れてしまいますので、よく使うボタンだけツールバーに登録し、他は右クリックメニューで操作するとよいでしょう。



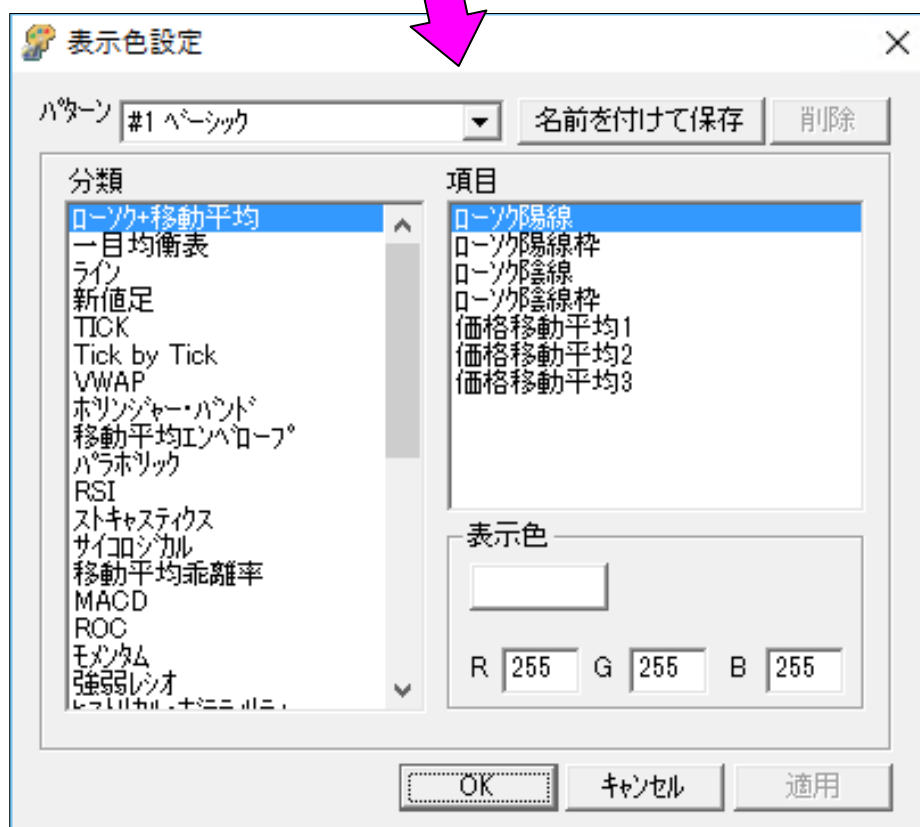
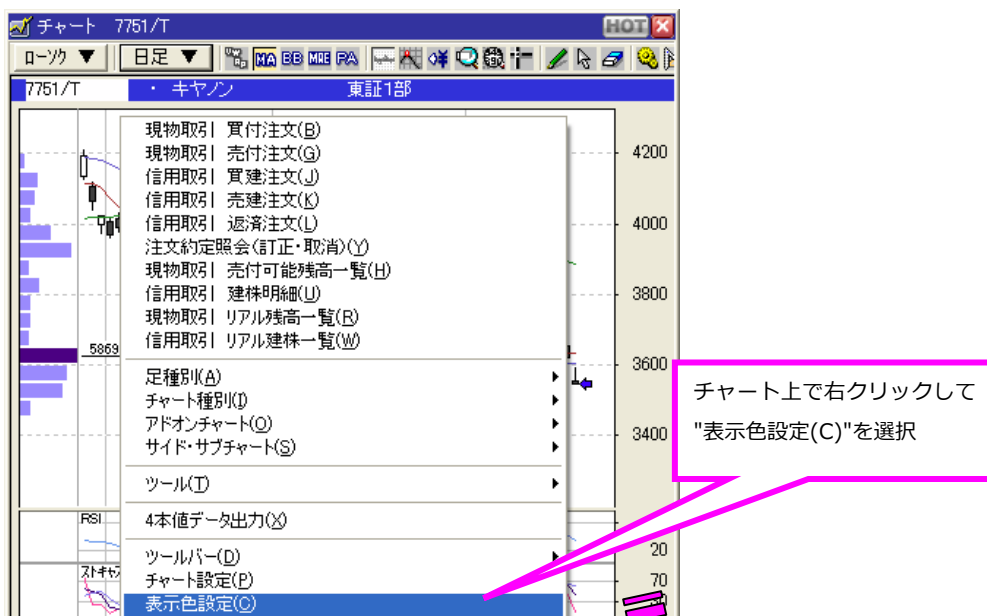
表示色の設定

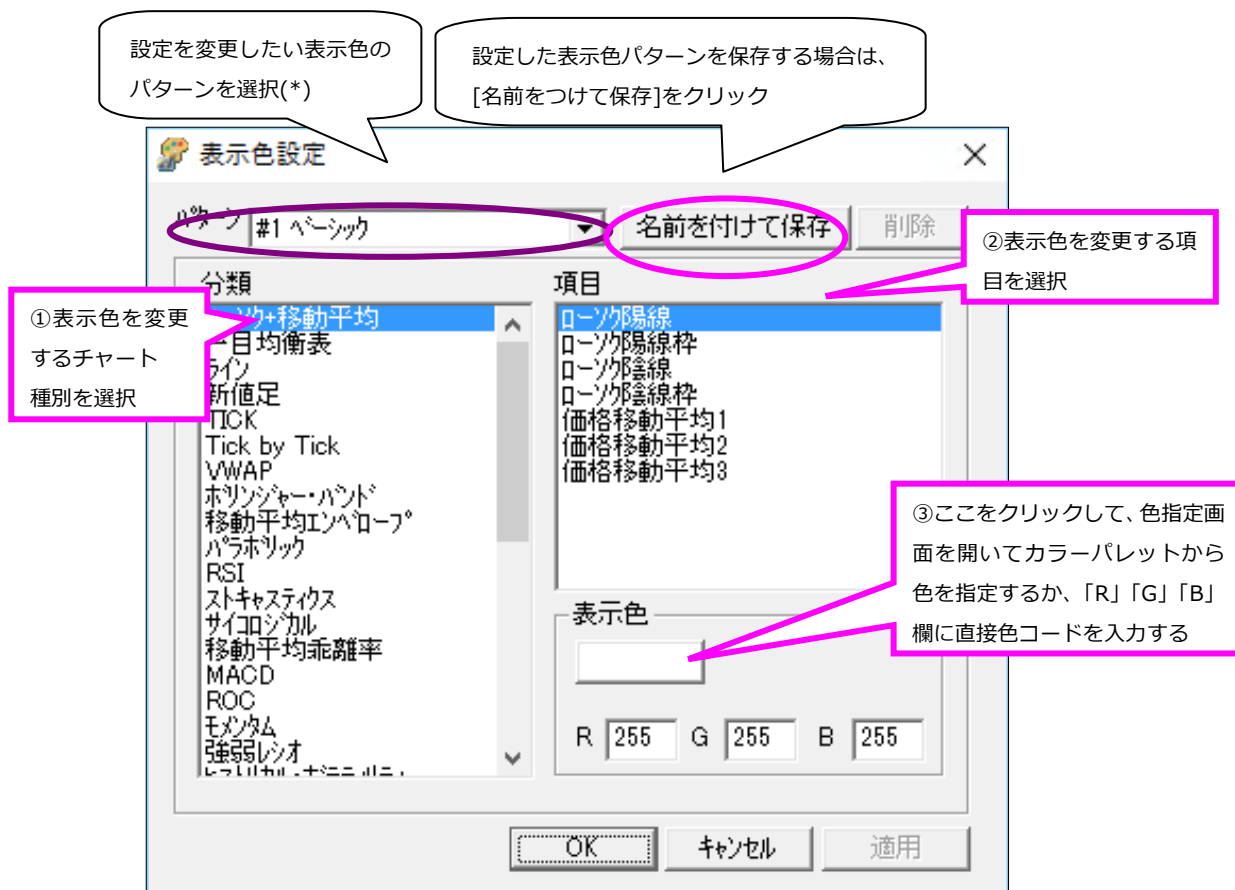
【内容】

チャートの表示色を設定します。

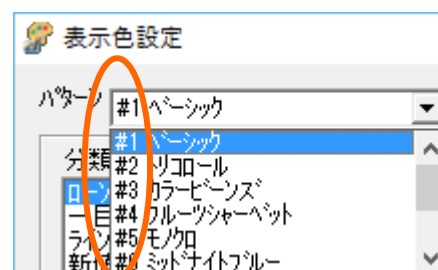
【操作】

チャート上で右クリックし、“表示色設定(C)”を選択してください。





* : 先頭に「#」マークのついたパターンは上書き保存や、削除ができません。



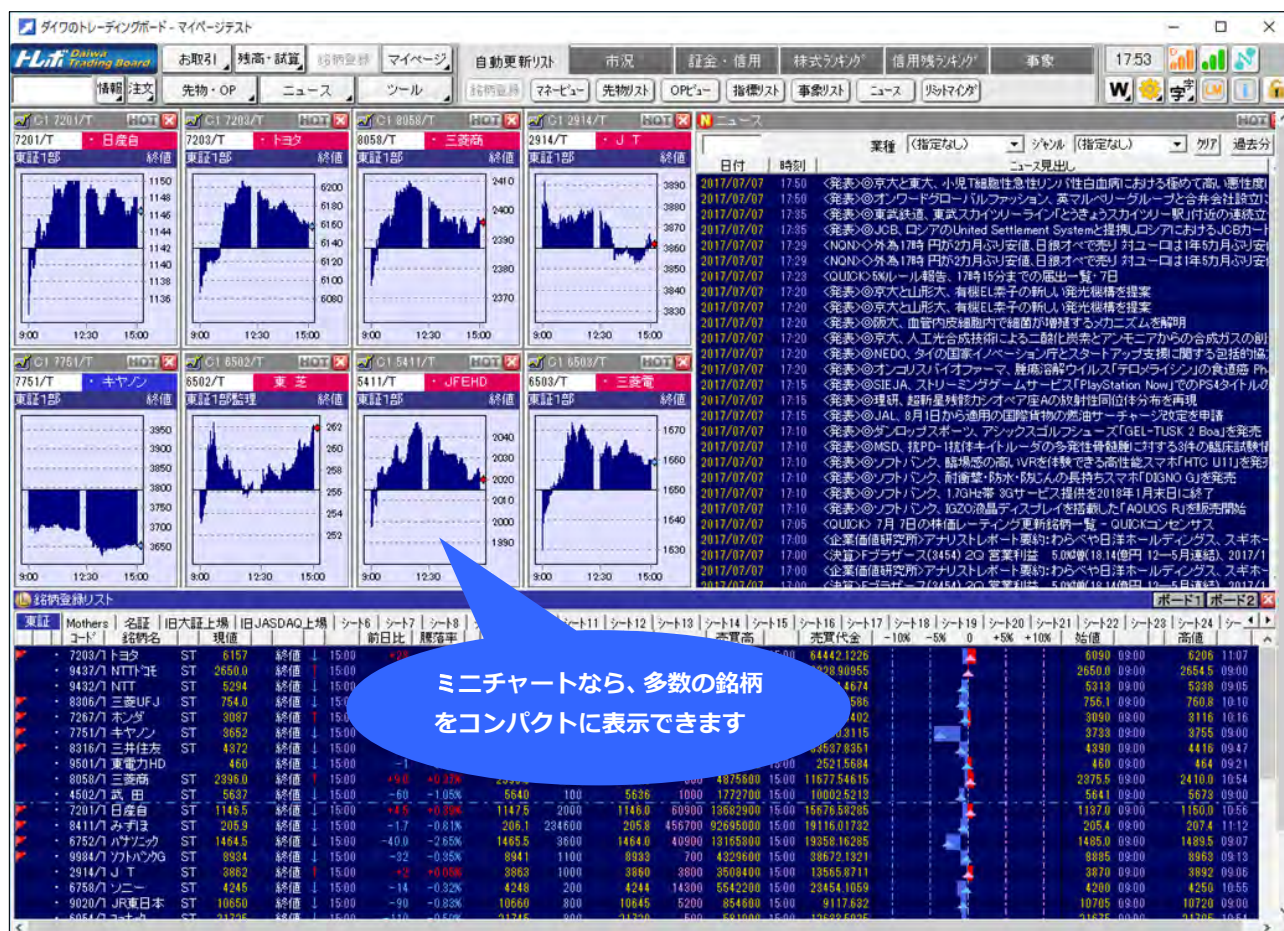
ミニチャート

トレボでは、通常のチャートに加えて、「ミニチャート」をサポートしています。

ミニチャートは、マイページ上にコンパクトに並べられますので、多数の銘柄を一度に確認するのに便利です。

また、多くのミニチャートをマイページ上に並べるには、複数ウィンドウ一括表示機能(次項参照)が便利です。

ミニチャートでは、1分足、10分足、日足、週足、月足をサポートしています。



2. 知って得する機能！① —複数ウィンドウの一括表示機能—

複数ウィンドウの一括表示機能とは、銘柄詳細やチャートなどのウィンドウを複数枚一括してレイアウトする機能です。

この機能を活用することにより、お好みのマイページを簡単に作成することができます。

【操作】

①複数表示したいウィンドウ上で、右クリック

②メニューから"複数表示"を選択

③列数と行数を指定

複数表示可能枚数を表示します

複数表示設定可能ウィンドウ数: 21

表示するウィンドウの列と行数を指定します。

列数: 3

行数: 3

OK キャンセル

④指定の列・行数で表示されます

3. 知って得する機能！② レイアウトロッカー

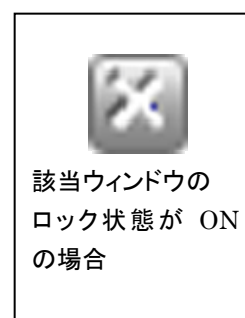
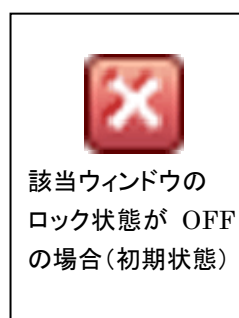
レイアウトロックとは、マイページ上のウィンドウの追加、移動や削除ができないよう、レイアウトを固定する機能です。

誤ってウィンドウを削除してしまうといったことを防げるので、常に同じレイアウトで監視したい場合に便利です。

レイアウトロックが ON の場合、対象ウィンドウ(P.18 の表参照)に対する以下の操作ができなくなります。

- ・新規ウィンドウの追加
- ・ウィンドウの削除(ウィンドウを閉じる)
- ・ウィンドウのサイズ変更
- ・ウィンドウの移動

【操作】



②対象ウィンドウの
アイコンがロック状態
を示す表示となります

レイアウトロックが可能なウィンドウは以下の通りです。

対象ウィンドウ	
銘柄登録リスト	銘柄詳細
オプションビュー	先物リスト
指標リスト	チャート(ミニチャート含む)
マーケットビュー（市況、証金・信用、事象）	マネービュー
ランキング（株式、信用残）	ニュース
事象リスト	マーケットティッカー
銘柄個別	

なお、レイアウトロック中でも、以下のようなレイアウトに影響を与えない操作は可能です。

- ・対象ウィンドウでの銘柄など表示内容の変更
- ・銘柄登録リストの表示パターン切り替え(リスト形式⇔ボード形式)
- ・チャートのパラメータ設定やツール指定

ウィンドウの重なりは変更可

レイアウトロック中でも、ウィンドウの重なり順序は変更できます。

レイアウトロック中

①順序を入れ替えるウィンドウ上で右クリックして、"順序(V)" ⇒ "最前面へ移動(F)"を選択

右クリックメニュー:

- 現物取引 売注文(G)
- 信用取引 買注文(I)
- 信用取引 売注文(K)
- 信用取引 返済注文(L)
- 注文約定済会 (訂正・取消) (V)
- 現物取引 売付可能残高一覧(H)
- 信用取引 建株明細(U)
- 現物取引 リアル残高一覧(R)
- 信用取引 リアル建株一覧(W)
- 銘柄コード
- 銘柄貼り付け
- Ctrl+C
- Ctrl+V
- 順序(V)
- 順数表示
- 印刷
- スクリーンコピー
- オプションカルテ・マトリクス
- 銘柄詳細1 価格(1)
- 銘柄詳細2 価格+振(2)
- 銘柄詳細3 価格+振(3)
- 銘柄詳細4 価格+振+T&S+チャート(4)
- 銘柄詳細5 価格+振+T&S+チャート+N(5)
- 振(6)
- 銘柄詳細7 振(7)
- 銘柄詳細8 価格+振+振10本+T&S+チャート+N(8)
- 銘柄詳細9 振10本+価格+T&S+チャート+N(9)
- 振2(0)
- 銘柄側面(E)
- チャート(C)
- ミニチャート
- コース(N)

②対象ウィンドウが最前面へ移動します

銘柄詳細5 7751/T

7751/T

現値 3748 ↓ 1247 前日 3652 17/07/07

100株単位

売 3749 3600 H 3765 09:30

買 3748 6900 L 3685 09:00

V 4768200 12:47 VH 3667 17/06/20

代金 17808.9826 百万円 YL 3218 17/02/08

VW 3734 1656 円 TTKK 6597 1344

速価PER 22.4 倍

速価PBR 1.48 倍

速価ROE 5.240 %

YLD 4.00 %

基値 3652 17/07/10

上下限 4352 2952.0

空売規制 3266

配付 成行 買

19100 3759

18600 3752

10100 3751

11900 3750

3800 3749

現値 ↓ 3748

3749 6900

3747 10600

3746 12200

3745 11700

3744 11500

Time&Sales

時刻 価格 約出

12:47 3748 200

12:47 3748 100

12:46 3749 100

12:46 3749 100

12:46 3749 300

12:46 3749 2000

12:46 3749 200

12:46 3749 200

12:46 3749 1000



12:46 3750 500

12:46 3749 1000

4. 知って得する機能！③ —ランキングのレイアウト調整—

ランキングでは、ツリーメニューの表示/非表示の指定ができます。また、列項目毎に表示/非表示の指定もできますので、マイページ内にコンパクトにレイアウトすることが可能です。

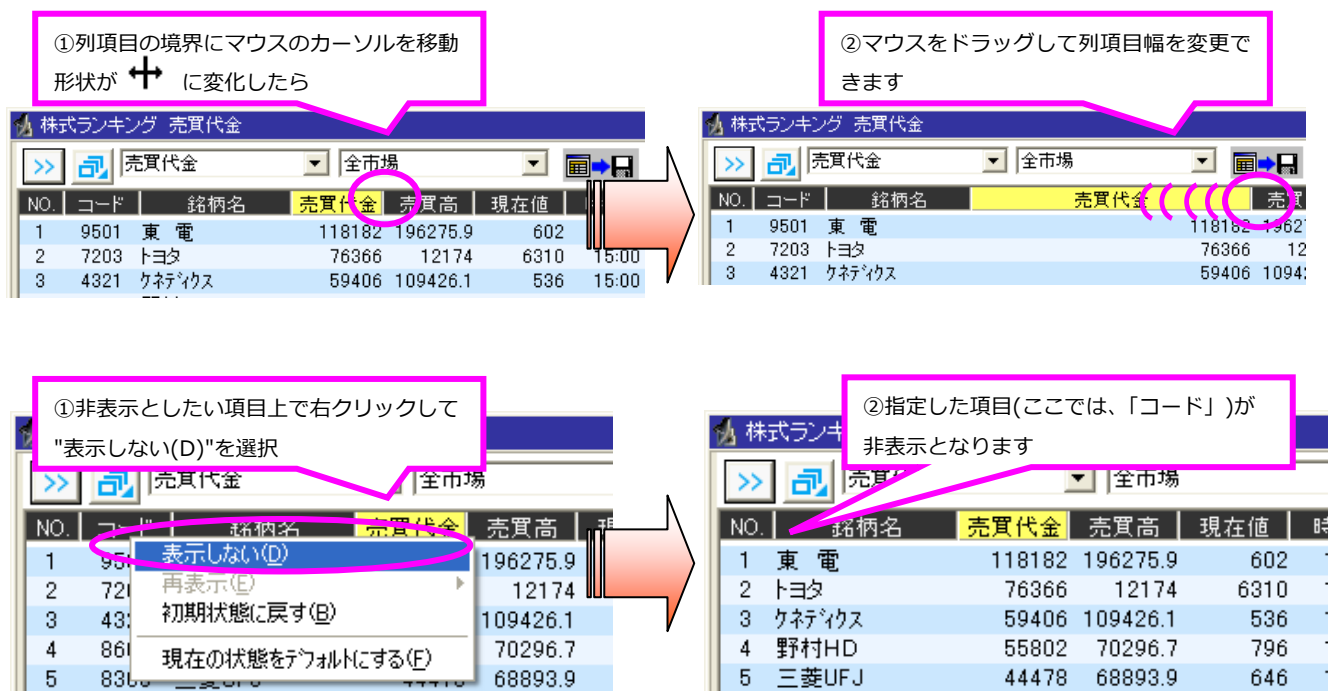
ツリーメニューの表示/非表示設定

ランキング上部の  または  をクリックすることにより、ツリーメニューの表示/非表示の指定が可能です。

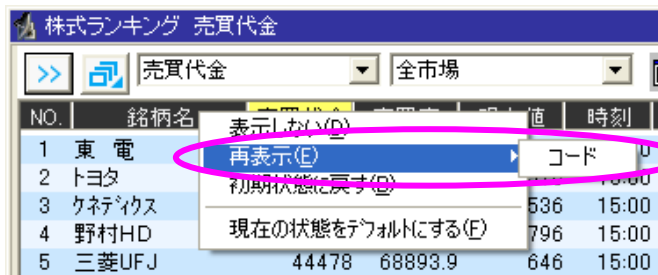


列項目の表示幅設定、表示/非表示設定

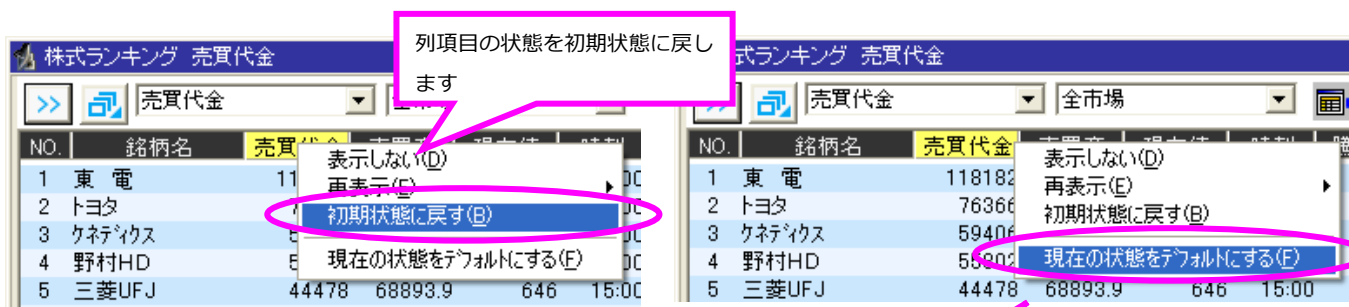
マウスのドラッグや、右クリックメニューにより、ランキングの列幅の変更や、表示/非表示の設定ができます。



非表示とした列項目を再度表示する場合は、項目行上で右クリックして“再表示(E)”を選択し、再表示させる項目名を指定してください。



ランキングの列項目幅や、項目の表示/非表示の変更は、“初期状態に戻す(B)”を選択することにより、初期状態に戻ります。また、“現在の状態をデフォルトにする(F)”を選択することにより、その時点の列項目の状態を該当のランキングでの初期状態(デフォルト)とし、以降、同じ種類のランキングは、指定したデフォルトの列項目の状態が表示します。



その時点の状態をデフォルトとします。以降、同じ種類のランキングはここで指定した状態で表示されます

登録用の設定

ツリーメニューや列項目の非表示機能を利用して、コンパクトなレイアウトを作成することが可能です。

